



八峰町

議会だより



ペーパーレス議会に向けてタブレット講習会

**6月
定例会**

- 6月定例会ダイジェスト……………2ページ
- 一般質問……………4ページ
- 予算特別委員会付帯意見の回答……………9ページ
- 議会の主な動き……………10ページ

6月定例会 ダイジェスト

地域活性化事業を行う団体が 町の財産を貸り易いよう 条例改正

伴う負担金や補助金、事業費など不用額の減額。

一般議案

●八峰町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例制定

地域活性化に供するための事業を行う者に対し普通財産を貸し付けるときも、無償貸付又は減額貸付ができるよう条例改正しました。

●物品の取得について

除雪ドーザ（11t級）149万400円の購入契約締結について議決しました。

補正予算

●平成28年度八峰町一般会計補正予算（第1号）

7812万3千円を追加補正
主な歳出：介護予防・生活支

専決処分

●八峰町固定資産評価審査委員会条例等の一部を改正する条例制定

●八峰町税条例等の一部を改正する条例制定

●八峰町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定
いずれも、地方税法等の一部改正に伴い条例改正しました。

●平成27年度八峰町一般会計補正予算（第9号）

1億2791万4千円の減額補正
主な歳入出・・・事業確定に

提出

会長 渡辺淳

内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣に意見書を提出

※議案はすべて全会一致で可決しました。

●子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を国に求める意見書提出の陳情
（秋田県社会保障推進協議会

人事案件

●人権擁護委員候補者の推薦

金谷由紀子氏（岩館2・再任）

陳情

採択された陳情

●教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の要請について
（秋田県教職員組合 執行委員長 山懸稔・秋田県教職員組合 能代山本支部 支部長 越後谷茂）

6月定例会は6月15日（水）から17日（金）までの3日間開催され、条例改正や一般会計及び特別会計の補正予算等の議案が上程されました。
そのほか、議員提出議案2件、陳情2件を審議しました。
一般質問では、5人が登壇し、町政をたどりました。



援拠点整備事業補助金、産地パーク・八森漁港地域水産物供給基盤整備事業費負担金、プレミアム付商品券発行事業補助金、森林科学館改修工事費の追加、定期人事異動による人件費の組み替えによる補正

●平成28年度八峰町営簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

300万5千円を追加補正
主な歳出：町道下カッチキ台線配水管布設工事費の追加

●平成28年度八峰町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

5万4千円を追加補正
主な歳出：現給保障の基準日変更に伴う人件費の追加

●平成28年度八峰町営診療所特別会計補正予算（第1号）

内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣に意見書を



定例会初日の様子



皆川 鉄也 議員

統合後の学校経営について

質問 八峰中学校、峰浜小学校が誕生してから3か月を迎えるが、統合後の学校経営に対する教育委員会の見解は。

答弁(教育長) 子どもたちからは、運動会や行事で小規模校ではできなかった活動ができるようになった、多くの友達と活動できる喜びを味わうことができたなどの声が聞かれ、教育効果という視点からは一定の成果が上がっている。一方では、閉校した地域からは「地域と子ども

質問 統合に伴いクラブ活動の部員も多くなりその活躍が期待される。しかし、屋外の環境整備まで手が回っていない。特に八峰中グラウンドでは野球部員が大人数で練習に励んでいるが水たまりができるなど、今後児童生徒が思う存分活動が

学校の環境整備について

たちとのつながりが希薄になった」という意見もあるため、教育委員会では今後の課題として、統合前にあった地域行事や学校行事は統合校においてもきちんとして活動の中にも具体的に位置づけることを大切にしながら学校運営を行うようお願いし、統合校の先輩格である八森小学校を含めた町内三校のますますの発展に期待していきたい。

再質問 中学校においては陸上部と野球部が練習場を重複することも考えられる。総合的に点検し整備する考えは。
答弁(教育長) これまでは単発的に学校や保護者からの要望に応じて悪い所を点検し、必要であれば補正予算等に計上



八峰中学校 グラウンド

答弁(教育長) 中学校のグラウンドの排水については調査の上対応する。今後とも学校と協議しながら教育環境整備に努める。

集団登校の交通安全確保について

て補修・改修してきたが、総合的に総点検する必要もあると考える。

質問 縁石を乗り越え歩道に車が乗りあげガードレールを破損する事故が発生している。今までの対策では不十分と思われるが、今後の対応は。
答弁 既存の注意看板の点検や設置個所を増設していくこととしており、今後とも警察、道路管理者である国、県、及び町担当課、そして保護者、地域の方々と連携し協力を得ながら子どもたちが安全に登下校できるように子どもたちへの交通安全確保の指導はもとより、広報や防災無線等で繰り返しお願いするなど、安全確保に努めていく。

八峰町職員の採用について

質問 ①町村合併後、職員の定数削減に取り組んできたが今後の採用計画は。

②社会人枠を設け、経験や知識のある町内出身者を即戦力として採用する事が、移住・定住や職員の意識改革に効果があるのでは。

答弁 ①合併後10年間は、退職者5名に対し1名採用する「5分の1採用方式」をとり、定数の適正化に努めてきた。「八



笠原 吉範 議員

峰町定員適正化計画」では、「平成18年4月1日現在の職員定数147名を10年間で41名、率にして27・9%削減し106名にする。」としている。これらの計画を基に職員採用を行ってきた結果、平成28年4月1日現在の職員定数は、計画どおりの106名となっている。定数総数の削減もそろそろ限界にきており、各年度の退職者・再任用予定者など、その時々を状況等を勘案し柔軟に採用人数を決定していく。

②現在本町では、受験資格年齢を30歳までとし、大学生や高校生・社会人も受験している。「民間企業等職務経験者採用試験」については、平成27年度では全都道府県政令市の4分の3以上の自治体が社会人枠を実施している。しかし、採用人数が毎年10名から数百名となる自治体であり、小規模自治体までは広がっていない。今後、「民間企業等職務経験者採用試験」を導入する場合には、町内出身者に限定せず広く人材を求める。



役場の業務風景

再質問 大仙市など、県内でも社会人枠を積極的に取り入れている自治体がある。前向きに社会人枠を検討しては。
答弁 社会人枠を否定はしないが、今の段階では社会人枠を設けることは考えていない。

再質問 現在の若者は、タブレットやスマートフォン・パソコン等で情報を得ている。ITや語学に精通した職員を採用しホームページを管理する部署を設け、各課の情報日々発信することが移住・定住の促進になると考えるが。
答弁 職員は一人一台のパソコンを持ち使える状況である。専門家でないといホームページを更新出来ないという状況はあってはならない。職員から勉強してもらい、期待に応えられるように更新していく。

商品券事業の効果・課題について



山本 優人 議員

質問 商品券は、購入した人には確実にプレミアム分の恩恵があり、その限りにおいて生活支援策の側面がある。しかし、町民全員に行き渡るものではないため、不公平感が避けられない。期間終了後の消費反動について具体的な経済効果は。また、1人5万円の購入限度額では2千人であり、町民の26%しか使えないほか、町内在勤の人も対象であると町民の購入機会が更に低下し、希望しても買えないことになる。

質問 更に、1世帯で2人購入すると1千世帯で町の32%の世帯しかプレミアム分の恩恵にあずかれなかったことになるなど、この事業の課題は何か。
答弁 厳しい経済情勢が続く中で、消費者の負担軽減と、購買力の町外への流出が抑えられた。商品券の利用実績は、ガソリンや灯油購入など、スタンドの利用が多く、車検やタイヤ購入など車両維持への支出がそれに続き、日用品、食料品については、価格の安い大型店での購入が多く、小売店での利用は大きく伸びていない。これら小売店の商品券利用を増やし、経営安定と拡大をどうやって図っていくのが課題として挙げられる。

再質問 地元の生産物に対して20%のプレミアムを付けて金が入るような仕組みで商品券を使うようにすれば町内でお金が回るのではないかと。
答弁 課題として浮き彫りになってきているため、商工会とも相談をしている。

しいたけプロジェクトについて

質問 菌床しいたけの増産による雇用拡大を目的に秋田県との協働プログラムを実施とのことだが、1年に1000人程の

答弁 人口減少が続く中で心配される面はないわけではないが、絶対確保するように頑張りたい。

質問 人口減少で労働力が非常に窮屈になっている。その状況で施設が出来ると人の取り合いになることが心配される。人がいなくて頓挫する事態だけは避けねばならない。
答弁 人口減少が続く中で心配される面はないわけではないが、絶対確保するように頑張りたい。



中浜地区商店街

旧埴川小学校の利活用の進め方について



嶋津 宣美 議員

質問 埴川地区で利活用のためのアンケートを実施したがその回収率と、その後に行う検討委員会の状況は。委員に関係地域の全自治会の代表を入れて、旧小学校だけでなく旧支所や将来統合予定の子ども園も含めた全体の利活用を検討すべきでは。
答弁 回収率は70名で13%。7割は高齢者で高齢者対策への利用の意見が多い。検討委員会は年度内に開く予定。委員数



利活用が検討される旧埴川小

が多くなると議論がまとまりにくくなり、指摘の施設を含めた利活用となると相当の期間を要するため、今回は旧小学校についての検討委員会として。
再質問 地域の自治力アップのためにもモデル的に埴川地区に利用を任せ、集落支援員の配置の考えは。
答弁 地域の意向が一番だが、現段階では住民も必要性を感じていないのではと思う。

創生総合戦略の住民説明会の開催を
質問 計画を立てるために策定委員会を開催して計画書を作ったが、このまま終わったのでは絵に描いた餅になってしまふ。これを活かすためにも住民の理解が必要であり、地域での説明会を開き、住民と一体となった活動展開を図るべき。
答弁 概要版を全戸配布したほか、広報や町のホームページにも掲載した。この計画では業績評価指標を設定していることから、策定委員による事業効果の検証も予定しており、改めて住民説明会を開催する考えはない。町の事業について担当職員が説明する八峰職員出前講座もあることから必

広報等の配布漏れの解消について
質問 広報やお知らせ版などは町からの情報伝達の重要な手段だが、自治会によってはこうした配布物が届かない世帯がある。町民への平等なサービスの提供という面では問題だ。早急に解消すべき。
答弁 町の住基資料と配付数との間には74世帯の誤差があるが、具体的に配布されない世帯数は把握していない。行政協力員会議でお願いし、解消できない場合は町が直接配布する。

平成28年度 予算特別委員会付帯意見および回答

平成28年3月定例会後に町長に提出した付帯意見に対する回答をご紹介します。

意見1
奨学金の免除について

八峰町への移住・定住を促進する面でも、Uターンした奨学生の奨学金の減免措置を考えるべきである。

回答 秋田県では平成29年4月以降の県内就職者を対象に奨学金の返還を開始してから1年毎の定住・就業状況を確認し、請求に基づいて、1年分ずつ年間返還額の3分の2（上限額13万3千円、大学等は3年、高校等は2年）の助成金を平成30年度から給付する予定となっております。この措置は町の奨学金も対象とされる。

町の場合、減免については基金での運用のため

意見2
財政の健全運営について

人口減少や少子化が進み、地方税収の増加が期待できない状況にあつて、普通交付税が段階的に縮減されることは、町の財政運営に大きな支障をきたすものであり、今後の更なる健全化に努めるべきである。

回答 本町は、これまで、組織のスリム化、議員、職員数の削減など行財政改革を積極的に推し進め、財政健全化判断比率の改

難しい面もあるが、定住就職を勘案し、秋田県に習った助成制度として、助成金額、助成期間等を検討していきたい。

難しい面もあるが、定住就職を勘案し、秋田県に習った助成制度として、助成金額、助成期間等を検討していきたい。

善や財政調整基金等の積み増しに努め、財政の健全化を図ってきた。しかし、今後は、平成28度から始まる普通交付税の合併算定替えの段階的縮減が町財政に大きく影響することが予想されており、更なる行財政改革を断行していかなければならぬ。職員数の削減もそろそろ限界にきていることから、公共施設の再配置や町単独補助金の見直しによる経常経費の削減、行政サービスのアウトソーシングの推進による行政コストの削減などを国・県の今後の動向を見極めながら、長期的視点で検討していく。

学校給食について



腰山 良悦 議員

質問 福井県若狭町でも食中毒、能代市や秋田市でも異物混入のニュースが新聞テレビ等で報道された。我が町は大丈夫か、アレルギー体質の子供たちも心配である。給食に関する事故への安全対策等マニュアルを備えてあるのか。あるとすればその内容は。

また、現在使われている地元産、県産野菜、魚介類などの品目とその割合は。

回答（教育長） 学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達のため栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図ることはもちろん、何よりも安全であることが不可欠の条件である。当町も「八峰町学校給食における危機管理マニュアル」を作成し、食の安全について、給食以外の各学校行事においても活用している。

マニュアルの内容等については、「学校給食衛生管理基準」公益財団法人日本学校保健会の「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」等を参考に、調理従

事者等が近年流行している感染性胃腸炎の疑いがある場合の対応策についても定めるなど、これまで随時見直しや修正を行いつつ、適正かつ迅速な対応ができるよう努めている。

八峰町産を含めた県内産の主要野菜15品目の使用割合は62・9%となっている。これは県平均の41・4%を大きく上回り、県内各市町村の中で3番目に高い利用率となっている。献立を調整しながら、今後も地元産の野菜や果物、水産物の使用に努めていく。

再質問 合併後事はなかつたのか。

回答（教育長） 合併後に大きな事故や新聞沙汰になるとか子供の健康を害するような事故はない。マニュアルについては、文科省の基準と照らし合わせてその都度直しながら、学校、当局とも相談しながら常に見直ししている。



食の安全安心を（学校給食センター）

議会の主な動き (4月～6月)

- | | | | |
|--------|--|-------|-------------------------------|
| 4月 5日 | 教職員就任式 | 6月 2日 | ことぶき大学開講式 |
| 6日 | 峰浜小・八峰中開校式 | 3日 | 議会全員協議会 |
| 7日 | 小中学校入学式 | 6日 | 議会運営委員会 |
| 11日 | 例月出納検査 | 12日 | ブナ植樹会(海と川と空の塾) |
| 16日 | 県消防協会能代山本支部評議員会 | 13日 | 例月出納検査 |
| 22日 | 奨学生選考委員会 | 15日 | 6月議会定例会 ～17日 |
| 25日 | 議員懇談会 | 18日 | 秋田県消防大会 |
| 28日 | 交通安全対策協議会 | 19日 | 八峰町消防操法大会 |
| 5月 10日 | 議会運営委員会 | 21日 | 高速道路ネットワークを利用した
地域づくりフォーラム |
| | おらほの館総会 | 23日 | 町遊休施設監査 ～24日 |
| 11日 | 例月出納検査 | 28日 | 議会広報編集委員会 |
| 12日 | 青少年育成町民会議 | 29日 | 議員懇談会 |
| 15日 | 八森小学校運動会 | | |
| 17日 | 大館能代空港利用促進協議会総会
米代川、国道7号、日沿道期成同盟
会総会 | | |
| 19日 | 国道101号期成同盟会総会 | | |
| 22日 | 峰浜小学校運動会 | | |
| 24日 | 県町村等監査委員協議会総会 | | |
| 26日 | 八戸能代間整備促進期成同盟会総会 | | |
| 27日 | 八峰町遭難対策協議会 | | |
| 28日 | 二ツ森山開き安全祈願祭 | | |
| 30日 | 全国町村議会・副議長研修会 | | |
| | ～31日 東京都 | | |



5/22 新峰浜小運動会



6/19 八峰町消防操法大会

編集後記

6月議会が終わり、どうか配布日に間に合わせて議会広報をお届けすることができた。先日、八森の国道を走ると、青い海と木々の新緑の風景が続くが、そんな緑の山肌に茶色の点々が見えた。松くい虫の被害木だ。見ると国道沿いも含め結構広がっているのが判る。去年の夏、山の尾根に茶色が広がっていたのを見てもしかしたらナラ枯れではと思ったら、秋になってナラ枯れと判った。

この季節の八峰町は、白神山地の緑と、日本海が一番である。最近、国内外でびっくりするような事ばかりが続いている。この議会広報が届く頃、70年ぶりに選挙権が18歳に引き下げられた参議院議員選挙の結果が出る。

(記 嶋津宣美)

議会広報編集特別委員会

委員長 門直樹
副委員長 嶋津宣美
委員 水原吉範
山本優人